

地元の女性の笑顔とあたたかさにあふれた直売所！！

道の駅「おばあちゃん市・山岡」

<事業者の概要>

- ・所在地 : 岐阜県恵那市山岡町田代1565-169
- ・運営主体 : (株)山岡のおばあちゃん市
- ・取組内容 : 農産物直売、食堂、惣菜・農産加工品
・手芸品の製造・販売
- ・売上高 : 2億3,400万円(平30年度)
- ・来客数 : 56.5万人(平30年度)
- ・雇用者数 : 50人(平30年度、臨時雇用含む)
- ・URL : <http://obachanichi.jp>

【開設の経緯】

- 平7年、高齢者の生きがいづくりの場として、地元の高齢女性(13名)が野菜や農産加工品を販売する日曜朝市「山岡のおばあちゃん市」を現地に開設。
- 平16年、市が道の駅を整備し、山岡のおばあちゃん市が中心となって運営。
- 平18年、市が指定管理者制度により、同社に管理・運営を委託。

【特徴的な取組】

- 地元の契約農家(約500人)から出荷(約120人/月)された農産物(青果物、米麦)のほか、地場産農産物を使った加工品(パン、味噌、漬物、弁当、惣菜等)を当直売所で働く地元の高齢女性が自ら製造・販売することにより、地域経済の活性化のみならず、生きがいの確認や食文化(例 桃の節句に供える「からすみ」)の伝承にも寄与。
- 食堂は、直売所と同じ原料(米、野菜等)を使った、「おふくろの味」や「伝えたい郷土食」をコンセプトとした料理を提供。
- 全国各地(県内を含む)の道の駅で扱う逸品(例 秋田「おがち」)の専用コーナーを設けるなど、集客にひと工夫。
- 取組の柱は、①郷土文化の伝承(例 節分イベント)、②味の伝承(同上)、③あそびの伝承(例 竹馬あそび)であり、誰でも参加できる交流の場として地域に欠かすことのできない存在。



巨大木製水車が目印



新鮮な野菜



手作り加工品の数々

【取組の効果】

- 売上高: 2億2,300万円(平27年度)
→ 2億3,400万円(平30年度)
- 来客数: 54万人(平27年度)
→ 56万5千人(平30年度)
- 従業員数: 50人(平27年度)
→ 50人(平30年度)

【今後の展望】

- 客層を広げるため、若年層の嗜好に合う商品の開発や、家族で楽しめるイベントを計画中。

おばあちゃん市・山岡

おばあちゃんの手作りに出会える道の駅

